

令和３年度 第１回釧路市地域ケア会議 ご意見等の集約結果

ご意見

現在、認知症初期集中支援チームに作業療法士がほとんど関わることができていない状況が課題。自立支援や介護負担軽減に対しての評価・助言ができるよう取り組んでいるので、お声がけいただきたい。

全体の文章を通じて、１人暮らしで身寄りのない方が地域でどう生活していくのかという課題が中心のように感じた。元気なうちは支援の必要性も困りごともないので、事前に支援機関が関わるということも難しいが、いざ病気になったり認知機能低下により生活に支障が出た時に、誰がどのように暮らしを支えていくのかという問題は釧路に限らず、全国的な課題である。住み慣れた地域で住民を支えていくためには町内会や集いの場などを中心とした地域づくりが重要になるが、コロナ禍で停滞しているのが現状である。家族がいないという理由でサービス利用が制限されることはあってはならず、各関係機関や所属団体の立場で他人任せにせず誰とどう協力し、どう対応していくのかを検討する必要がある。

少しでも地域におけるケアの質向上に役立てるよう、今後も会議に参加していきたい。

町内会においては、できるだけ子供に迷惑をかけたくないとの考えから、夫婦のみもしくは独居の高齢者が多いため、できるだけ住み慣れた地域で生活を続けていけるような支援が必要である。

高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律第１条の目的にあるように、虐待を受けている高齢者の保護や支援の継続的対応をお願いしたい。